

ニューガラスフォーラムへの期待



経済産業省製造産業局素材産業課長

吉村 一元

Yoshimura Katsumoto

本年7月5日より、素材産業課長に着任致しました吉村一元と申します。常日頃より経済産業行政にご理解とご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。はじめに、本年は8月の九州北部の記録的な豪雨を初め、我々がこれまでに経験したことのない超大型台風など、甚大な自然災害が連続で発生しております。全ての被災者の皆様方に心からお見舞い申し上げます。引き続き、政府一体となって一日も早い復旧に全力を尽くして参ります。

素材産業課は、ガラスのほか、石油化学やゴム、セメント、紙・パルプなどの基礎素材から機能性素材までの幅広い産業をカバーし、これらの産業に共通する構造改革や競争力強化、市場ニーズへの対応、新たな市場を開拓する革新素材の開発やその社会実装に向けた施策等に取り組んでおります。素材産業は我が国の重要な基幹産業として、日本の製造業の約2割を占め、自動車に次ぐ、リーディングインダストリーです。日々の生活に欠かせない製品や商品を幅広く提供し、国民生活の質の向上に直接貢献しており、今後、開発された新たな素材や技術が更なる市場成長や新たな需要を生み出し、経済の活性化を支えていくことを期待しております。

ガラス産業は、約3兆円の業界規模を誇り、建築、自動車、スマートフォン、食器などの生活用品など幅広い用途を持ち、我が国を支える産業の一つです。

一方で、中長期的な視点から見ると住宅等における需要の減少が見込まれることや、中国を中心とする海外からの輸入圧力など、市場の開拓と収益力の確保が大きな課題であります。そのため、国内需給のギャップの解消等によるコスト競争力の向上を図るとともに、高機能ガラス市場の開拓等への取り組みが一層重要になってきます。また、近年の自然災害頻発による国土強靱化の要請が高まっていることを踏まえ、防災安全ガラス等の新たな需要を取り込むことも重要と認識しております。経済産業省としましても、様々な機会を捉えて、本フォーラムの皆様とともに消費者への情報発信、普及啓発に取り組んで参りた

いと考えております。

さて、今年の6月には、大阪でG20サミットが開催され、我が国からは、特に、気候変動・エネルギー及び海洋プラスチックごみ対策といった喫緊の地球環境問題への対処におけるイノベーションの活用の重要性や、パリ協定の本格運用に向けた長期戦略を紹介し、目標の達成に向け世界の技術革新をリードしていくことを強調しました。長期戦略では、最終到達点として「脱炭素社会」を掲げ、それを野心的に今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指し、2050年までに80%の削減に大胆に取り組む方針（ビジョン）を示しております。

中でも住宅・建築物での取組に関しては、「カーボンニュートラルな暮らしへの展開」として、新築に加え、既築住宅・建築物に関しても、省エネルギーに資するリフォームを促進していくこととし、今世紀後半の出来るだけ早期に住宅やオフィス等のストック平均のエネルギー消費量を正味で概ねゼロ以下としていくために必要な建材、機器等の革新的な技術開発や普及を促すとされています。例えば、窓ガラス等により断熱性能の高い住宅はCO₂排出削減と同時に、快適性の向上や健康維持に資するなど、ガラス産業には、製品の断熱性向上・軽量化等を実現する技術開発等の取組を一層推進していくことが期待されております。

加えて世界的な潮流として、貧困や働き方、気候変動などの社会課題を解決し、持続可能な世界を実現するための国際目標「SDGs」について世界中の企業が経営の中に取り込もうと力を注いでおり、我が国においても、様々な取組が既に始まっております。環境問題への対応もその一角ながら、そのような活動は、CSRの範疇を超えた未来志向での経営により企業価値を高める動きとなり、新たな競争力の源泉になりえます。このような機運の中で、我が国のみならず世界に対して、高付加価値なガラス製品を売り込むビジネスチャンスとされることを期待しております。

また近年は、グローバルレベルにおいて、IoT・ビッグデータ・AIなどによる変革（イノベーション）が、従来にないスピードとインパクトで進行しています。マテリアルズ・インフォマティクスもその一例で、スパコンを駆使した計算科学やAI、ビッグデータの活用により、材料開発のスピードが劇的に改善しており、社会課題解決の加速化や環境負荷の少ない素材の設計が従来よりも簡易にできる可能性があります。本フォーラムにおかれましては、ビッグデータの活用の点において、学術誌等や特許等の情報源から膨大なガラスの特性と構造データを取集し、ガラス材料の国際的なデータベース「INTER-GLAD」の構築・運営によって知的基盤の整備にも長年取り組まれている強みがあります。この蓄積された共有財産を更に活用することで時代が求める潮流を汲み取り、迫り来る変革をチャンスと捉え、第4次産業革命を牽引する新たな素材開発の担い手となることを期待しています。

最後に、ニューガラスフォーラムの益々の発展と、皆様の益々のご健勝・ご活躍を祈念いたしましたしまして、ご挨拶とさせていただきます。